



がん患者さんを 在宅で支える

一病院の相談員の関わり

1

岩手県立大船渡病院 地域医療福祉連携室
気仙がん相談支援センター

医療社会事業士 阿部 遼介

地域医療福祉連携室としての役割

- 前方連携：他医療機関との連携。スムーズな受診のため。

- 後方連携：退院のお手伝い。

2

退院のお手伝いとは

- まずは退院先を選ぶ・決めることから。
- 退院先は大きく分けて3つ。
 - ①自宅：患者宅・家族宅・親戚宅 など
 - ②施設入所：特養・老健、有料老人ホーム、障がい者入所施設 等
 - ③療養病院：救急病院よりも長くいられる病院。

※その他リハビリ転院や治療目的での転院もあります。

3

どのようなお手伝いをするか。

- ①自宅の場合
 - 介護保険、障がいサービス等を利用して、介護・看護体制を整える。⇒家族への過度な負担軽減を図る。
- 退院後の医療につなげる。⇒通院先や手段の検討、訪問診療・訪問看護の案内

4



どのようなお手伝いをするか。

②施設の場合

- 施設の種類はたくさんある。⇒各施設についての説明。
- 申込みが必要。⇒申込みのサポート、施設とのやりとり
- 多くの施設は入所に至るまで時間がかかる。
⇒入所までの間どうするかについて検討。

5



どのようなお手伝いをするか。

③療養病院（長く入院できる病院）の場合

- 転院相談先について説明。
- 転院相談の実施
※転院の可否や転院までの期間は、患者の状態・混雑状況に影響を受ける。
- 必要時は、転院時の移動手段の手配代行も。

6



その他の役割

- 相談支援業務全般
 - お金に関すること（医療費、生活費 など）
 - 生活に関すること（介護、就労 など）※相談内容はなんでも可
- 気仙がん相談支援センター
 - がんに関する相談

7



相談支援

- 退院後の生活や在宅療養について
- 福祉サービスや社会保障制度の情報と利用について（身体障害者手帳、年金、特定疾患、傷病手当、高額療養費など）
- 病気や障がい、診療内容についての不安・疑問
- 転院について
- 医療費などの経済的問題
- セカンドオピニオンについて
- その他当院へのご提言・ご意見 などなど

8



気仙がん相談支援センターとしての役割

- 気仙地域のすべての住民の方がご利用いただけます。
- 情報の提供 がんに関する情報
セカンドオピニオン
社会資源
- 就労支援

9



相談室を利用させていただくにあたって

- 秘密は守られます。「言ってほしくない」と言ってください。
- 相談にあたって、費用はかかりません。
- 話したくないことは話さなくて良いです。
- 適切な機関や部署につなぐこともします。

10



おわりに

- なんでもご相談ください。
- 不安の解消、問題の解決、状況の改善に向けて、一緒に考えます。

ご清聴ありがとうございました。

11